

学生相談所をご利用された方へ

当センターでは学生相談所でご相談された方のデータを用いた研究を行っています。

【研究課題】 学生相談アウトカム尺度の実践適用に関する検討

-Outcome Questionnaire 45.2J (OQ45) との比較-

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関 東京大学相談支援研究開発センター 学生相談所

研究責任者 榎本 真理子

【研究期間】 2025年2月1日～2027年12月31日

【対象となる方】 2025年2月1日～2027年12月31日の間に学生相談所を利用された方

【研究の意義と目的】

本研究は、日常の学生相談実践から得られるデータを用いて、学生相談の質向上のための知見を得ることを目的として行うものです。

【研究の方法】

この研究は、東京大学ライフサイエンス倫理委員会の承認を受け（大学の学生支援向上を目的とした、相談施設が保有する臨床情報の解析(4)）、東京大学相談支援研究開発センター長の許可を受けて実施するものです。

学生相談所利用学生の面接時に実施してもらう Outcome Questionnaire 45.2J と学生相談アウトカム尺度の結果を用い、両尺度の相関や有用性を比較し分析します。

【研究における倫理的配慮（インフォームドコンセント、個人情報保護、資料の取扱等）】

「大学の学生支援向上を目的とした、相談施設が保有する臨床情報の解析(4)」で申請承認された通りです。

本研究では、研究参加者の回答は匿名化されたうえで解析され、特定の個人を対象とした解析は行いません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事務局までご連絡ください。連絡をいただいた日以降の研究には、あなたのデータを使用しません。しかし、連絡をうけた時点で、学会発表、論文投稿等がすでになされていた場合、これらを修正することは困難であるため、連絡日より前に遡ってデータを削除したり解析を修正したりはいたしません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。研究結果は、個人が特定できない形式で学会等で発表されます。

収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後、10年間保存されます。

【問い合わせ先】

東京大学相談支援研究開発センター 学生相談所 講師 榎本 真理子

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-2516（内線 22516）